石川方部商工会広域連携協議会

令和３年度　　経営発達支援計画

事業実施評価委員会　報告書

■構成商工会

○石川町商工会　　○玉川村商工会　○　浅川町商工会

○平田村商工会　　○古殿町商工会

■開催

書面による評価

○実施期間：令和４年２月28日（月）～令和４年３月22日（火）

■出席者：委員長　　鈴木　龍京（税理士・中小企業診断士）

委員

外部有識者　　柴田　幸紀（中小企業診断士）

地区内行政　　南條　貴之　（石川町）

野崎　智之　（玉川村）

坂本　克幸　（浅川町）

船山　　亮　（平田村）

平松　洋昭　（古殿町）

商工会　　齋藤　一彦　（石川町商工会）

野崎　一幸　（玉川村商工会）

須藤　浩二　（浅川町商工会）

石塚　保雄　（平田村商工会）

渡辺　民一　（古殿町商工会）

■評価方法：実施した内容を職員が報告書及び資料・別紙を使用しながら説明し、評価委員がＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階で評価を行う

※計画については事前に説明してあるため記載及び説明を省略した。

令和３年度　　経営発達支援事業計画　実施報告

Ⅰ・経営発達支援計画の実施目標

○経営発達支援計画の目標

現状や課題及びこれまでの商工会での取り組みを踏まえ１０年程度の先を見据えた中長期的な小規模事業者支援の振興と地域の課題解決に向けた支援を実施する。これにより、地域経済の活性化を図り、小規模事業者の事業計画策定と策定後のフォローアップ支援を実行し持続的な発展に結び付ける。

Ⅱ・経営発達支援計画の事業内容と実施状況

≪１、 地域経済動向調査≫

○計画

石川地区内の経済動向調査として小規模事業者が現状の経営課題や問題点等を把握するため、小規模事業者へヒアリングを実施し、地区内小規模事業者の実情を把握し調査分析をする。

【年度内目標値：地区内の現状調査と全国の経済動向の分析事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
	15	5	5	5	5	35

●実施内容

【事業者から経済動向のヒアリングによる独自調査の実施】

商工会における地域経済動向の把握は各機関の統計調査報告書や「RESAS」等の HP にアップされたデータのみであった。

地域経済の身近な動向を把握するために石川地区は経営発達支援計画実施後は独自の調査シートで各地区の小規模事業者に対し景況感のヒアリング調査を実施した。これにより、コロナ禍に於いての地域内の現状把握や経営改善計画の策定へ活用した。

【実績値：地区内の現状調査と全国の経済動向の分析事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	18	6	6	6	7	43
R01	32	12	12	6	12	74
R02	24	10	11	11	12	68
R03	30	10	10	10	12	72

◎実施結果

コロナ禍において身近な経済動向を調査し、他地区の景況感と比較することにより、地区内の小規模事業者の置かれている経済環境を把握し、経営改善へ向けた取り組みにつながった。

◆実施報告及び評価

① 事業者からヒアリングによる独自調査の実施

・報告者　　松原経営指導員（石川）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	4	1
	B		6	
	C			
	D			

② ＨＰ等での公表による情報提供

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	2	1
	B		8	
	C			
	D			

◎評価委委員長コメント

▼地域の経済動向調査において、中小企業の景気の良し悪しの実感である景況感の把握を行う際に、独自の調査シートによる調査内容を継続しており、新型コロナの影響等も踏まえた期間推移の明確化等、調査結果は社会の経済動向を如実に示しており、調査結果に関して評価に値するものと考えます。

≪２、経営状況の分析に関すること≫

○計画

石川地区内で地域資源を活用した６次化商品の提供に取組んでいる事業者や第２創業、事業承継、各種制度や補助金の活用を検討している小規模事業者に巡回や窓口相談の際に経営状況の分析やその後の事業計画の策定の必要性や重要性を説明し、積極的に取り組み事業者の掘り起こしを行う。

【年度内目標値：経営分析事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
	18	6	6	6	6	42

●実施内容

【独自の分析シートによる経営状況の分析の実施】

小規模事業者が経営内容を把握し、経営課題の抽出や必要な資金の調達、制度や施策を活用し経営の安定を図るために小規模事業者の事業者の経営状況の分析を行った。

実施方法としては、経営状況分析の必要な事業者が経営分析シートに記入することで自社の現状を把握した後に細かい内容について職員がヒアリングを実施後に事業者の経営状況の分析を行った。

【実績値：経営分析事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	18	6	6	6	6	42
R01	55	6	6	19	8	94
R02	75	7	10	8	6	106
R03	29	12	5	15	14	75

◎実施結果

小規模事業者が現状の経営内容を把握することで、目の前の課題と長期的な課題について考えることにつながり、これからの持続的な経営へ向けた行動が明確になった。

◆実施報告及び評価

① 事業者からヒアリングによる独自調査の実施

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	4	1
	B		5	
	C		1	
	D			

◎評価委員長コメント

▼事業者の置かれている状況は様々ですが、各課題において適切な形で経営分析を行うことは大変重要となり、今後の経営に活用していくことを期待します。

▼経営分析を行った事業者数は、平成30年度42者、令和1年度94者、令和2年度106者と増加傾向から、令和3年は75者と減少しましたが、高水準で推移しており、着実に情報を積み上げていることと思います。

≪３、事業計画策定支援に関すること≫

①経営状況の分析を実施した小規模事業者の事業計画策定支援

○計画

経営分析を行い課題解消に向けた対応策の提案を行った小規模事業者に対し、より具体的な改善策・アクションプランを考える機会として事業計画の策定を提案する。

従来、短期的な目標設定であった計画を中長期的な視点へ切り替え、地域経済動向や需要動向を踏まえた、実行可能で持続的発展ができる事業計画の策定支援をする。

【年度内目標値：経営状況の分析を実施後に事業計画策定支援事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	12	4	4	4	4	28

●実施内容

【経営分析シートのブラッシュアップによる計画策定支援】

経営分析シートを小規模事業者自身が記入したことにより、自社の課題（短期・長期）の解決へ向けたより実行可能な事業計画書の作成へ向け、外部専門家の意見も踏まえながら事業計画の策定支援に取り組んだ。

具体的には、国・県の支援施策の活用へ向け事業計画策定に取組んだ。

【実績値：経営状況の分析を実施後に事業計画策定支援を行った事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	40	6	5	13	7	71
R01	45	6	6	9	4	70
R02	81	8	12	3	6	110
R03	24	8	4	8	4	48

◎実施結果

小規模事業者が経営分析シートを記入し、自社の課題把握と解決へ向け考えたことにより、事業の持続的な経営へ向けた、実行可能な事業計画の策定に繋がった。

②経営セミナー・事業承継セミナーを開催し、受講者の事業計画策定支援

○計画

経営セミナー・事業承継セミナーを各単会で年 1 回以上開催し、事業計画の活用方法などについて説明する。このセミナー受講者の中で、事業計画策定の重要性を感じた小規模事業者を発掘し、経営状況を分析後、事業者の地域経済動向や需要動向を踏まえた、より実行可能な事業計画の策定を支援する。

【年度内目標値：事業計画策定へ向けたセミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	1	1	1	1	1	5

●実施内容

【セミナー受講者への事業計画策定の必要性の啓蒙と策定の支援】

売上を上げるだけで利益が出なければ持続的な経営にはつながらないため、小規模事業者自身が現状の経営体質の改善と強化へ向けた計画や災害等での早期事業復旧計画の策定が重要であることを説明し、セミナーにより計画書の策定に取組んだ。

【実績値：事業計画策定へ向けた経営セミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	3	3	3	3	3	9
R01	3	3	3	3	3	9
R02	3	3	3	3	3	9
R03	5	5	5	5	5	25

【実績値：セミナーの受講者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	28	5	4	7	8	52
R01	28	1	2	4	4	39
R02	36	2	1	3	2	44
R03	37	9	1	21	9	77

◎実施結果

小規模事業者が利益の出る経営体質への改善や被災した際の事業再開を目的とした事業計画策定のセミナーを開催し、どんぶり勘定脱却のための原価計算による経営強化計画や事業継続計画の必要性を説明したことにより、実施可能な計画書を策定した小規模事業者が殆どであった。

③創業者の発掘へ向けた創業セミナーの開催による事業計画策定

○計画

創業を考えている創業希望者を発掘するための、創業セミナーと個別相談会を年 1 回以上開催し創業への啓蒙活動に取り組むとともに、地域経済動向や需要動向を見据えた、実現可能な事業計画書の策定を支援する創業セミナー実施については、国の産業強化法に基づいて石川地区内 5 町村が連名で認定を受けた創業支援事業計画に基づき、行政を主とした石川地区創業支援団体連絡協議会と連携しながらセミナー開催や、創業計画の策定支援をおこなう。

【年度内目標値：創業計画策定へ向けたセミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	1	1	1	1	1	5

●実施内容

【地区内で連携し創業者の発掘と起業支援の実施】

経済産業省から認定を受けている特定創業支援事業として創業支援メニューを組み込んだ「創業セミナー」を 4 日間（1 日 5 時間）創業と経営に必要な知識習得のセミナーを開催した。周知については地区内の全戸配布と地域情報誌「月間すかっと」を活用し、地区内で創業を考えている方々の発掘に取組んだ。

【実績値創業者発掘へ向けた創業セミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	4	4	4	4	4	20
R01	4	4	4	4	4	20
R02	4	4	4	4	4	20
R03	4	4	4	4	4	20

【実績値：創業セミナー受講者数と事業計画策定者数（　）内】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	9（2）	1（0）	1（1）	3（2）	2（1）	16（6）
R01	8（7）	2（1）	2（0）	2（2）	0（0）	14（10）
R02	4（2）	3（2）	3（3）	5（4）	1（1）	16（12）
R03	4（3）	1（1）	3（1）	3（2）	3（3）	14（10）

◎実施結果

ニューノーマル時代に対応した創業セミナーで顧客ターゲット設定や資金計画、差別化した経営の重要性等を説明し、受講者自身が策定した事業計画のプレゼンテーションを行うことで計画の再確認と実現可能な創業へ向けた支援に取り組んだ。

◆実施報告及び評価

① 経営状況の分析を実施した小規模事業者の事業計画策定支援

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	3	1
	B		6	
	C		1	
	D			

◆実施報告及び評価

② セミナーを開催し、受講者の事業計画策定支援

・報告者　　佐藤経営指導員（石川）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	2	1
	B		8	
	C			
	D			

◆実施報告及び評価

③ 創業セミナーの開催による事業計画策定

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	4	1
	B		6	
	C			
	D			

◎評価委員長コメント

▼事業計画策定に関しては、経営発達支援事業における取組を様々な角度から活用した中での主要な成果物となります。

▼実績として事業計画を国、県の各種補助金制度に活かすことで、事業者の活用促進に繋がったものと考えます。

▼セミナーの参加数は過去 3 年と比較して大きく増加しました。これはコロナが落ち着いた時期における開催ということや、商工会の努力の成果であると考えます。

≪４、事業計画の策定後の実施支援に関すること≫

①巡回指導による事業計画の進捗管理とフォローアップ

○計画

経営指導員が事業計画策定事業者に 4 半期ごとに巡回指導をおこない、事業計画の進捗状況を確認する。これにより、現状の把握と実行課題の抽出を行い、改善が必要な場合は小規模事業者とともに改善策を検討する。

【年度内目標値：事業計画策定後の進捗管理フォローアップ巡回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	48	16	16	16	16	112

●実施内容

【事業者へ訪問し計画実行の管理】

経営状況の分析を実施した後に今後の事業計画策定に取り組んだ小規模事業者に対し、策定した計画への取組状況と取り組んだ後に出た課題の把握を含め、小規模事業者へ訪問及び専門家による個別相談対応での支援に取組んだ。

【実績値：事業計画策定後の進捗管理フォローアップ巡回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	45	12	12	22	13	104
R01	139	12	28	66	7	252
R02	503	13	93	63	39	711
R03	72	24	12	24	12	144

◎実施結果

外部環境が目まぐるしく変化する中、経営改善や強化へ向け実際に計画実施へ向け取り組んでいる小規模事業者に対し、定期的なフォローアップや外部専門家によるアドバイスを行ったことにより、新たに見えた課題や計画の修正が小さいうちに解決することに繋がった。

②創業スクール受講者のフォローアップ

○計画

創業スクールを受講した創業者すべてを対象として、創業計画・事業承継計画等が着実に遂行されているか確認し、必要な指導・助言を行い、経営力強化等のセミナーや労務管理等の研修会、支援連携機関の事業等の情報を提供し参加の必要性を伝え、事業の安定へ向け研修参加を促し、策定された創業計画が具現化されるようフォローアップを持続的に行う。

【年度内目標値：創業者フォローアップ回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	36	12	12	12	12	84

●実施内容

創業スクールの受講生に対し外部専門家を招聘し事業計画についてのブラッシュアップも含めたアドバイスと創業へ向けた行動計画や利益を生むための差別化についての説明を行い、今後の円滑な創業へ向けた支援をした。

【実績値：創業者フォローアップ回数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	218	0	0	71	0	289
R01	62	32	0	25	0	119
R02	39	13	13	39	13	117
R03	9	3	3	6	9	30

◎実施結果

受講者が策定したビジネスプラン（創業計画書）を基に定期的な進捗状況と新たな課題に対し外部専門家よりアドバイスを行いながら、創業後に事業が安定するべく支援に取り組んだ。

◆実施報告及び評価

① 事業計画策定後の進捗管理フォローアップ実施

・報告者　　矢吹経営指導員（古殿）

・報告者　　古澤経営指導員（玉川）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	0	3	1
	B	1	7	0
	C	0	0	0
	D	0	0	0

◆実施報告及び評価

② 創業スクール受講者のフォローアップ実施

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A		4	
	B	1	3	1
	C		3	
	D			

◎評価委員長コメント

▼事業計画の着実な実行を支援するにあたり、フォローアップは大変重要となります。進捗管理をきめ細やかに行う取り組みは、石川地区商工会の特徴でもあり、事業者にとって、大きな支えとなったものと思われます。

▼数値推移をみると、事業計画策定後の進捗管理フォローアップは、事業計画、創業スクール両者とも減少しており、コロナ禍における支援の難しさがあるものと推測されます。

≪５、需要動向調査に関すること≫

○計画

石川地区内の加工食品の新商品の開発及び商品改良などに取組んでいる小規模事業者の新たなビジネス展開を図るため、商品の市場や消費者のニーズの把握と潜在的需要を見える化し、市場や消費者ニーズに合った新商品の開発及び商品改良へ取り組むための調査を行う。

【年度内目標値：収集アンケート調査数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	50	50	50	50	50	250

【年度内目標値：アンケート調査実施事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	1	1	1	1	1	5

●実施内容

【商品改良へ向けたマーケティング調査の実施】

例年、東京ビッグサイトで開催される商談会でヒアリング調査を実施していたが、新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、商談会が中止となりマーケティング調査は中止とした。

【実績値：収集アンケート調査数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	52	12	12	12	12	100
R01	35	35	35	32	0	140
R02	0	0	0	0	0	0
R03	0	0	0	0	0	0

【アンケート調査実施事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	2	0	0	1	0	3
R01	2	1	1	1	0	5
R02	0	0	0	0	0	0
R03	0	0	0	0	0	0

◎実施結果

なし

◆実施報告及び評価

① ニーズ調査

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A			
	B			
	C		1	
	D	1	9	1

◎評価委員長コメント

▼当初予定されていた商談会が中止となったため、評価は割愛しますが、次年度以降は無事に調査を行えることを期待しています。

≪６、新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること≫

①売れる商品づくりの支援

○計画

加工食品を取扱う事業者を毎年７社ピックアップし、消費者が手に取りやすい商品づくりを支援する。また、使用用途や家族構成によって商品の消費量が変わることを踏まえた内容量の変更や商品によって変わる購入年代に対応したパッケージングデザイン等の改良など、商品開発と改良へ向けた提案を行う。

【売れる商品づくり支援事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	3	1	1	1	1	7

●実施内容

【地区内加工食品の商品見直し支援】

地区内で加工食品の製造販売に取り組んでいる事業者に対し商品開発やパッケージングデザイン等の改良を行うために商談会に参加しモニター調査を実施後に商品改良を行っていたが、商談会等が中止となったため事業実施しなかった。

【商品づくりセミナー受講者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	2	0	0	1	0	3
R01	3	1	1	1	0	6
R02	0	0	0	0	0	0
R03	0	0	0	0	0	0

【売れる商品づくり支援事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	5	1	0	3	2	11
R01	4	2	2	2	0	10
R02	0	0	0	0	0	0
R03	0	1	1	1	1	4

◎実施結果

なし

②加工食品の展示会・商談会の出展支援

○計画

全国からプロのバイヤーが新たな取引先を求めて集まる商談会「地方銀行フードセレクション」や「スーパーマーケットトレードショー」などに共同出店ブースを確保し小規模事業者の販路拡大を支援する。出展の際には商品のアンケート調査を実施し、今後の売れる商品づくりへブラッシュアップの参考資料として活用する。

【年度内目標値：展示会・商談会参加事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	3	1	1	1	1	7

【年度内目標値：商談会参加による取引成約件数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	6	2	2	2	2	14

●実施内容

商品改良と新たな取引先の獲得に取り組みを検討している事業者に東京ビッグサイトで開催している商談会に参加する予定であったが、リモートによる開催や中止のため今回は事業実施なし。

【実績値：展示会・商談会参加事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	2	0	0	1	0	3
R01	2	1	1	1	0	5
R02	0	0	0	0	0	0
R02	0	0	0	0	0	0

【実績値：商談会参加による取引成約件数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	7	0	0	3	0	10
R01	5	1	5	2	0	13
R02	0	0	0	0	0	0
R02	0	0	0	0	0	0

◎実施結果

なし

③IT 活用による新たな需要を開拓するための経営スキル向上支援

○計画

小規模事業者の経営スキルを上げる取り組みとして、インターネットを活用した新たな販路開拓手法に係るセミナーを開催する。これにより新たなビジネスチャンスにつなげ、BtoB 及び BtoC の新たな取引成立を目指す。

【IT 活用経営スキル向上　事業者数

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
目標	15	5	5	5	5	35

●実施内容

【IT 活用　EC セミナーの開催】

ネット販売が好調である中、小規模事業者の EC サイト販売支援へ向けたセミナーを企画していたが、コロナ蔓延と日本全国の小規模事業者が EC での販路開拓へ向け取り組んでいることから、小規模事業者の EC サイト販売での差別化が難しいと判断し、IT 関連のセミナーを中止し、SNS 等での商品 PR 手法について個別にアドバイスを行い、商圏内へ SNS を活用した販路開拓支援を行った。

【IT 活用経営スキル向上　事業者数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	7	0	0	2	0	9
R01	0	5	0	0	0	5
R02	11	1	0	1	3	16
R03	7	2	0	5	2	16

◎ 実施結果

新たに SNS 等の活用を始めた事業者からは、手軽にいつでも商品の魅力を PR でき、ちょっとした時間があれば SNS に投稿を小まめにアップする事業者も増えるとともに、商圏内の新たな顧客獲得に繋がった。

◆実施報告及び評価

① 売れる商品づくり支援

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A			
	B	1	2	
	C		3	
	D		5	1

◆実施報告及び評価

② 加工食品の展示会・商談会出展支援

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A			
	B			
	C		2	
	D	1	8	1

◆実施報告及び評価

③ IT活用による新たな需要を開拓するための経営スキル向上支援

・報告者　　宇内経営指導員（浅川）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	2	
	B		5	1
	C		3	
	D			

◎評価委員長コメント

▼商談会等の中止により、「加工食品の展示会・商談会の出展支援」、「売れる商品づくりの支援」について未実施になりました。次年度は商談会が開催され、本事業が遂行されることを期待します。

▼一方、今後の需要開拓に向けて、ITツールの活用は必須であり、SNS等、活用の幅を広げる取組みを令和2年度に引き続き同規模で行うことができました。そ地域事業者のITスキルの向上を図られたことは、今後の新規需要開拓に寄与するものと期待します。

≪7、経営指導員等の資質向上に関すること≫

○計画

経営指導員・経営支援員は小規模事業者に対する支援の実効性を検証し、修正や確認を行なう中で経営指導員等個々の支援手順やレベルの個々の支援資質の向上を図る。

この取り組みにより習得した支援能力について、広域連携内で情報交換会を開催し、他の職員に説明することにより、職員の資質向上を図る。

●実施内容

国・県の制度・施策が小まめに変わる中、小規模事業者の課題解決へ向けた支援スキル習得のため、経営支援員を対象に職員スキルアップセミナーを開催した。

具体的には、ヒアリングと経営計画書作成の能力を備えることを目的とした「持続化補助金スキル」と税制の変化に対応支援するために「インボイス制度及び改正電子帳簿保存法」の多方面からの支援力を向上するためのセミナーを開催し、経営支援員自身が自発的に考え、小規模事業者へ「いい支援へ向け」スキルアップに取り組んだ。

【職員スキルアップセミナーの開催数】

商工会	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	合計
H30	3	3	3	3	3	15
R01	2	2	2	2	2	10
R02	4	4	4	4	4	20
R03	6	6	6	6	6	30

●実施結果

自ら考え、勉強した職員は支援対応スキル習得し実際に良い支援を行っている。

◆実施報告及び評価

① 職員スキルアップ

・報告者　　藤田主任経営指導員（広域）

・評価結果

	判定	委員長	委員	外部有識者
評価	A	1	7	1
	B		3	
	C			
	D			

◎評価委委員長コメント

▼本取組は、経営指導員、経営支援員のスキル向上を目的として、様々な知識、手法の習得を行うものになりますが、より実践的な内容におけるセミナーを受講することで、実践的支援に繋がるものと思われます。

▼今後も様々な事業を通して、より多くの会員へ本成果を還元し、事業者を支える存在として活躍されることを期待します。

≪総括コメント≫

【総括】評価委員長　　鈴木龍京中小企業診断士

当地域における経営発達支援事業は、本年度が 4 年目となりましたが、小規模事業者支援の充実と地域経済の活性化に寄与しているものと思われます。

一方、新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢といった世界規模における外部環境の不安定さは、当地域においても大きく影響を及ぼしており、それに伴い、事業者は様々な対応策を図らなければなりません。

このような状況の中、事業者に対して伴走型支援を行う本事業計画は大変重要な意義を持ちます。本事業計画では、事業者に対する個別支援を基軸とし、地域の経済動向やそれぞれの需要動向を明らかにすることで、それらを反映した事業計画を中心に成果が見られます。

不安定な環境の中、本年度は商談会等実施できなかった事業もありましたが、制約の中、支援は着実に効果をあげており、今後も本事業計画を推進し、地域を支える商工会の存在感を高めて頂くことを期待します。

【総括】　外部有識者　　柴田幸紀　中小企業診断士

今年度も前年度と同様に新型コロナ感染症の影響により、当初予定されていた計画の変更を余儀なくされる中での運営により大変ご苦労をされたかと思います。

また今年度もコロナ向けの補助金や助成金、融資等、沢山の支援プログラムがあったことから事業計画策定支援に係る機会も多分にあり“商工会の存在意義”が益々高められたかと考えられます。

さて今年度の経営発達支援計画の評価ですが、経営分析と事業計画策定支援につきましては、セミナーの開催等により、目標を着実に達成されており、その中でも創業計画策定件数につきましては 10 件の支援が行われ、事業者数が減少している中で地域活性化や将来につなげられるような支援ができ大変素晴らしいと思います。

続いて事業計画策定後の「フォローアップ支援」については、コロナ禍でありながらも事業計画策定事業者へのフォローがしっかりと行われており、今年度の事業遂行における評価は高いと考えられます。

また小規模事業者が苦手としている「新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」では小規模事業者であってもデジタルトランスフォーメーション(DX)　への取り組みは無視できないものとなってきているため、「ICT 等を活用した販路開拓支援」が行われ、参加事業者の動機付けや意識の醸成につながった支援ができたと思われます。

最後に次年度に向けての課題として、事業計画策定後の「フォローアップ支援」については、目標件数は達成されているものの、事業計画策定事業者 48 者に対し、4 半期に 1 回の支援が行われておりませんので、取り組み方や取り決めなどを職員間で今一度、確認および検討をしていただきたいです。

また本計画は限られた職員数で事業運営を行っていかなければならないことから職員間での情報共有と連携がポイントになるかと思います。

まだまだ新型コロナ感染症の終息が見えないですが、次年度も今年度同様の支援を期待しています。